

■ 熱血の絶対平和主義者

大山 幸太郎

おおやま こうたろう

出身地 湯沢市

1873年（明治6年）～1967年（昭和42年）

思想家新井奥邃あら い おうすい しんすいに心酔、教育行政かいぜんの改善をめざす。スイスに留学し、世界永久平和に関する思想を体得。『絶対運命の精神』を刊行する。秋田県師範学しはん校講師として絶対平和主義の平和哲学てつがくを講義した。



年譜

- 1873年 湯沢市に生まれる。旧姓・須田きゆうせい すだ。
- 1895年 秋田県尋常師範学校卒業。しんじょう しはん
横堀尋常高等小学校訓導。よこぼりしんじょう
- 1906年 文部省勤務。思想家新井奥邃宅に寄寓、師事。きんむ あら い おうすいたく きぐう しじ
- 1912年 『日本教育行政法論』を刊行。ろん
- 1914年 文部省留学。スイス滞在満8年。たいざい
- 1921年 『絶対運命の精神』（独文）を刊行。
- 1926年 秋田県師範学校講師に招かれ哲学を講義。しはん てつがく
- 1954年 『真人学概論』を刊行。がいろん
- 1967年 湯沢市で没。94歳。ぼつ さい